

和歌山病院での実習を終えて



上村 啓文

今回、第3内科の実習の一環で、2日間和歌山病院で実習させていただきありがとうございました。印象に残っていることを書かせていただきます。

1日目の最初、結核についてセミナーをしていただき、自分が理解していなかった根本的な部分である結核がなぜ空気感染のみの感染様式で、なぜ患者はサージカルマスクが良いのかというところを丁寧に教えていただき、より理解が深まりました。その後病棟にて、陰圧の機械のトラブルで結核の病棟の中まで見学できなかったことは残念でしたが、N95マスクをつける体験をさせていただき、初めてつけたのでN95マスクの息苦しさであったり話しづらさであったりを体験できて良い経験となりました。

南方院長によるセミナーではレントゲン写真の見方を教えていただきとても勉強になりました。最後のポリクリで目からうろこの様な話をさせていただいて、自分が今まで特に何も考えずにさらっとレントゲン写真を見ていただけだったとよく分かりました。セミナーを受けてレントゲンを見ることに抵抗がほとんどなくなりました。

南方院長には錆びついた分析能力に自分で考えることと、アルコールによって錆を少しとっていただき感謝しています。

また、晩御飯は9人という大勢にも関わらず、連れて行っていただきありがとうございました。たくさん食べて、たくさん飲んでとても楽しい時間でした。

2日間和歌山病院の先生方、職員の方々には大変お世話になりました。とても充実した2日間でした。ありがとうございました。

最後に、南方院長先日はやしでの懇親会にて楽しい時間をありがとうございました。